

北海道大学

## 大阪・関西万博パブリックアート作品のための原木の提供

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

北海道白老町を拠点に活動する彫刻家・国松希根太氏が大阪・夢洲で開催された「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博：会期 2025年4月13日～10月13日）」に出展する木彫作品「WORMHOLE（ワームホール）」の制作のため、北海道大学・雨龍研究林はミズナラの原木を提供しました。国松氏はその推定樹齢300年のミズナラの伐採から立ち合い、およそ2カ月半の制作期間を経て、高さ4メートルの大作を完成させました。

万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に呼応する本出展について、国松氏は新聞取材に対し、「人間の時間スケールをはるかに超えて大地に根を張り、歴史や時代を見つめ続けてきた木の姿を想像するきっかけになれば」と語っています。悠久の時間を宿す素材と現代の創造行為が交差することで、私たちの未来社会を考える新たな視座がもたらされることを期待しています。

本学は今後も、研究と教育を礎に、芸術文化をはじめとする多様な領域への貢献を着実に進めてまいります。

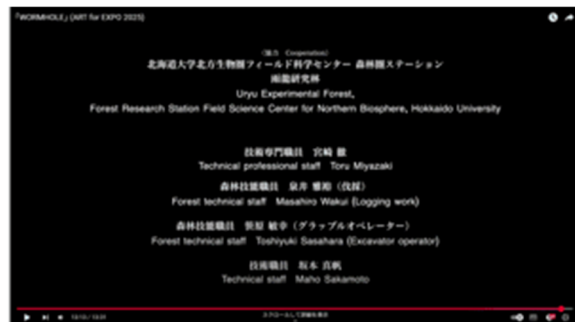


写真 国松氏のウェブサイト (<https://kinetakunimatsu.com/>) より